

こんにちは
11月号

酒井まさえ

です



2022年11月13日 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111 (2319) FAX 3312-2610

sakaimasae.0507@gmail.com 090-9325-5676

岸本区長就任後、初の第3回区議会定例会 全議案可決 多くの前向き変化、前区政の問題解消へ



10月7日 決算特別委員会

10月19日、杉並区議会第3回定例会が閉会しました。今定例会は岸本区政誕生後初の議会でした。日本共産党杉並区議団は岸本区政が区民の願いに
応え、前進するよう積極的な提案と前・田中区政
下のもとでの様々な問題の解消を求めました。

区民の願いが生きる区政を はじめての一步だが歴史的一步

岸本区長は所信表明や質問への答弁において、
公約の実現を表明。住民との対話による区政運営
を訴えました。

連日、議会には多くの区民が傍聴に参加し、「区
政が変わった」などの喜びの声を上げました。岸
本区政のもとで、新たな区政への前進が開始され
ました。これはまだはじめての一步ですが、歴史的
な一步となります。

積極提案により区政前進へ

前区政のもとで、党区議団が提案し続けてきた
ことが次々と実現する方針が示されました。

区民のくらしに係る施策では、補正予算で学校
給食費の4月に遡った値下げを提案(可決)、物価
対策でも「区民生活に目を凝らし苦境に立つ区民
に寄り添う」「必要な対応をはかっていく」と表
明。

前区政が背を向けてきた家賃助成や補聴器購
入費助成の実施が示されました。

岸本区長のもとでの前向きの変化について

■くらしに関わる施策について	
学校給食費値下げ	4月に遡って値下げを実施
家賃助成	実施に向けて検討を進める
補聴器購入費助成	実施に向けて検討へ 中身を作成中
■区長選挙の重大争点となった施策について	
情報公開	過去の事例を不問にしない 原則公開を徹底
児童館・ゆうゆう館等の 廃止方針	住民への対話と意見聴取を実施 取り組みの検 証と見直し
都市計画道路整備	多くの区民と課題を共有し対話を通じ議論
都市計画マスタープラン	骨子案の段階から住民意見を方針案に反映
施設使用料引き下げ	気軽に使えるよう近隣区の実態を踏まえ見直し
■前・田中区長による問題について	
区長公用車	区長専用車廃止 区職員共用の庁有車に変更
命の選別トリアージ	行政が命の選別に繋がる発言や基準を作っては ならない
利害関係団体とのゴルフ	不信を生まないよう行動、職員倫理の見直し

国民健康保険料等の負担抑制について、区長
は「抑制を検討していかなければ」と表明しま
した。

区長選挙の重大争点となった児童館・ゆうゆ
う館の廃止計画では、住民意見の聴取と検証、
見直しが示され、前区政の強引な都市計画道路
整備についても、住民との対話による今後の計
画の検討が表明されました。(岸本区政での変
化は右表)

党区議団は区民と力を合わせ、区政のさらなる
前進に向けて全力を尽くす決意です。

物価高騰対策

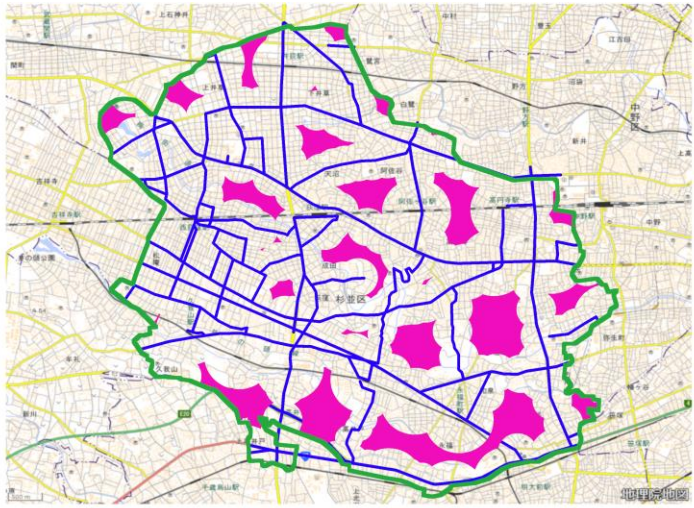
冬を前に支援策の強化を 党区議団が緊急 申し入れ

10月28日、党区議団は区に対し、「電気・ガス、食料等の物価
高騰から区民・事業者を支援するための緊急申し入れ」を行いました。
財源的としては、不十分ながら国が「電力・ガス・食料品等価格高騰
重点支援地方交付金」を創設しているため、これを積極的に活用する
ことを求めました。(4項目の内容 団のホームページに記載)



すぎ丸の充実で

誰もが負担なく移動できるまちに！



ピンク色が【公共交通不便地域】(鉄道駅から500m以上、路線バス亭から300m以上、すぎ丸バス停から200m以上離れた地域)

第3回定例会で、日本共産党杉並区議団は、策定中の「地域公共交通計画」と「コミュニティバスすぎ丸について質問しました。

共産党区議団は、2年前の一般質問で区内の交通不便地域(駅やバス停からも遠い地域)を地図(左)で示し、対策を求めました。その後、杉並区は「地域公共交通計画」の策定を表明。現在、策定作業が進められています。

交通不便地域の考えを狭めないで

3月の協議会では、公共交通不便地域を狭める見直しが提案されました。従来の不便地域は鉄道駅から500m以上としていましたが、これを800m以上に、「バス停から300m以上」を「バス路線から200m以上」に変更したので

高齢者が増加するもと、不便地域を狭めようとするのは逆行であり、変更の根

拠を示すとともに、変更によって従来の規定の不便地域がどれだけ除外されたのか質しました。

区は、学識経験者の意見を参考に變更したこと、除外された地域は6・1%だが、最終決定ではないと答弁しました。

すぎ丸の充実と運賃値上にストップ

交通不便地域解消の柱は、すぎ丸の充実です。7月の協議会の資料では、目標に「すぎ丸の再設計(計画・協定・運賃の見直し)」とあります。党区議団は、地域住民から寄せら

れている、すぎ丸の運賃を値上げをしないことや運行ルートの充実、朝晩の運行の拡充を求めました。

また、港区の例を挙げ、高齢者や障害者、妊産婦等に無料券を配布していることを、参考にすべきと迫りました。

区は、「コミュニティバスという輸送形態には一定の限界がある」「今後は港区などを参考に議論」と答弁。運賃設定は一定の層には考慮する可能性を示唆しました。

バス以外の車両の検討も

協議会では、グリーンスローモビリティの活用が打ち出されていますが、グリーンスローモビリティは高価であり、強風などでは、運行困難です。ワゴン車であればNPOで

も運行可能で、機能的には路線バスと変わらない役割を果たしています。党区議団は、全天候に対応する必要性や、増加している高齢者を意識した検討を求めました。



▲グリーンスローモビリティ。ゴルフ場や遊園地を移動する車両に似ており、豊島区などでは観光目的で用いられている。

酒井まさえニュース ポスティングボランティア募集



pixta.jp - 81086881

連絡先 酒井まさえ
090-9325-5676

酒井まさえリーフができました!

日本共産党 杉並区議会議員
看護師40年

酒井まさえ

政治が変われば守れるいのちがある!

酒井まさえの提案

- 児童服・ゆづり服の計画見直し
- 区立施設使用料の低下
- 国民健康保険料・介護保険料の抑制
- 学区化推進費の削減、教育補助の拡充
- 防災強化推進補助金確保の拡充
- 商店街・団地への支援強化
- シニア層への支援
- 高齢者133号線計画の見直し

0家改定・大平屋にノー消費税5%・高齢者の医療費2倍ストップ

健康の話 風邪に注意

11月に入り、木々も紅葉してきました。気温が下がり、空気が乾燥してくると、くしゃみや鼻水、咳などの症状が見られる風邪を引く人が増えてきます。

風邪の予防は、「こまめに手洗いをする(消毒)」「マスクをつける」「症状の出ている人に近づかない」などのウイルスを付けないことや、ウイルスに負けない身体、抵抗力をつけることが大事です。

コロナもインフルエンザも、ウイルス感染ですので予防は共通します。ウイルスを見分けるのも必要になり、発熱すれば、検査が必要になります。

同じ環境で過ごしていても、体力や抵抗力が低下していると感染しやすくなります。風邪に負けない身体をつくるのが大事です。次のことを実践しましょう。

- ① 睡眠はしっかりとる。睡眠は疲れを取るには欠かせません。
- ② 栄養を取る。免疫力を高めるには栄養が必要です。ウイルスの侵入を防ぐ、ビタミンAを積極的に取りましょう。
- ③ 適度に運動する。ストレスをためない。

風邪をひいてしまったら、むりをせず、十分な休養と、睡眠をとりましょう。胃腸が弱っていたら、おかゆなど温かく消化の良いものを食べましょう。水分補給も大事です。症状により、病院受診も必要です。

お困りのことがありましたら
酒井にご連絡ください。

